



母指CM関節症

四谷メディカルキューブ
手の外科チーム

母指CM関節症 手術説明

- 1.母指CM関節症について
- 2.予定している手術と方法
- 3.治療の流れ
- 4.手術前の検査・麻酔について
- 5.手術当日の流れ
- 6.入院に関すること
- 7.手術後の経過について
- 8.手のリハビリについて
- 9.手術によって起こりうる症状について
- 10.手術によって期待される効果と限界について

1. 母指CM関節症について

- 症状

物をつまむ時やビンのふたを開ける時などに親指の付け根に痛みがでます。進行すると親指の付け根の関節に変形がおき、親指が開きづらくなります。

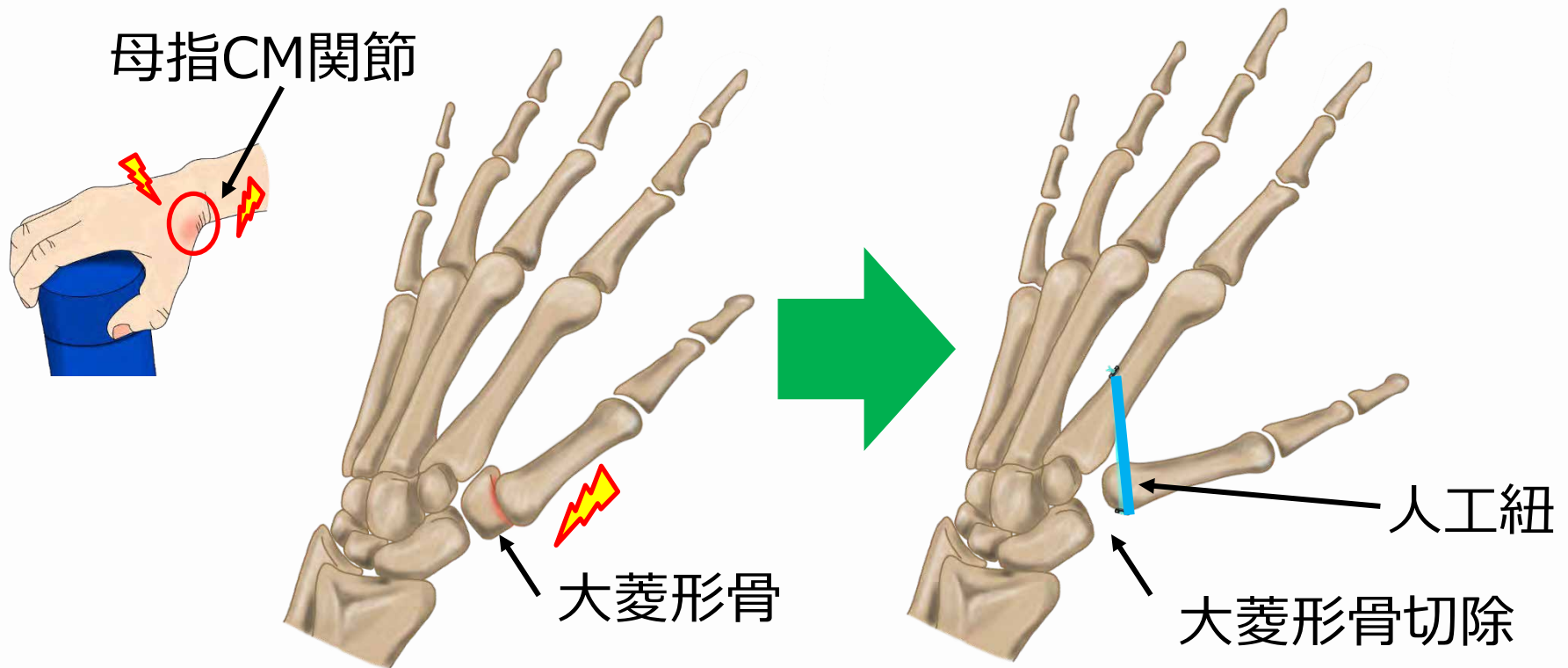
CM関節亜脱臼例



レントゲン撮影で、関節の亜脱臼や関節軟骨の磨耗による変形がみられます。

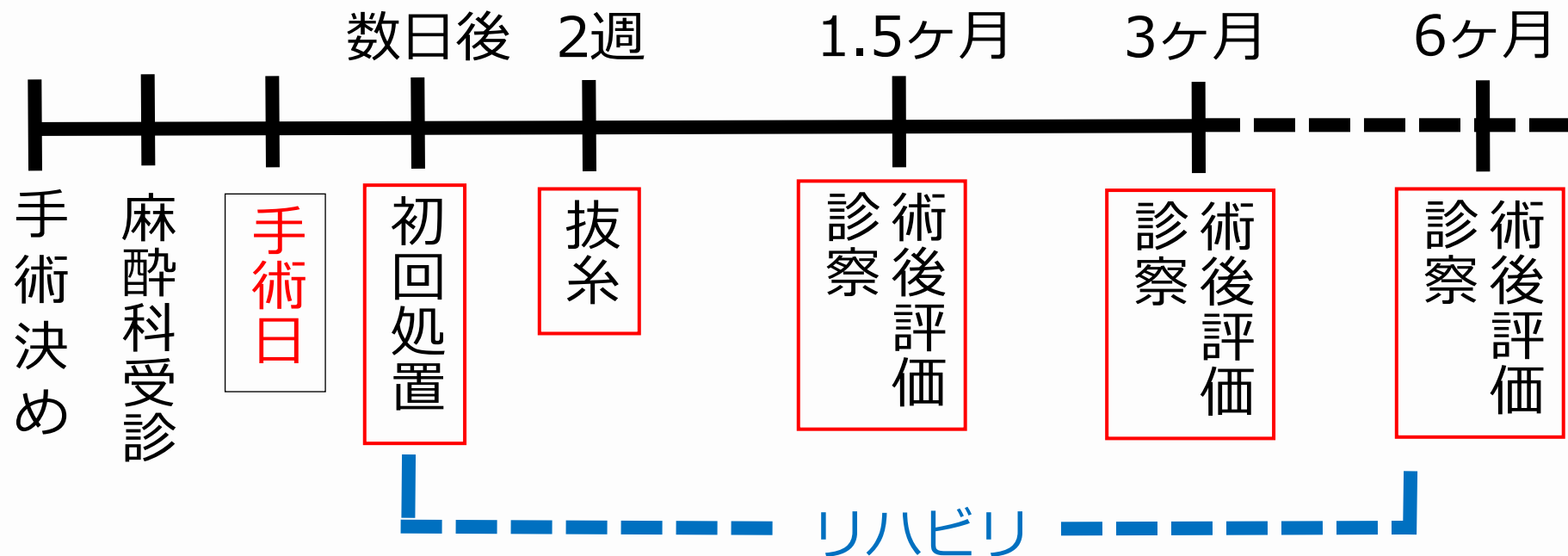
2. 予定をしている手術と方法

母指CM関節形成術



痛みの原因になっている関節を切除し
再度関節がぶつからないよう、人工紐で吊り上げます
(※手の状態によっては、大菱形骨を全部切除しない場合もあります)

3.治療の流れ（来院していただく日）



- 手術数日後に初回処置、約2週後に抜糸があります。
- リハビリは初回処置から開始となり、術後の状態に応じてリハビリ通院があります。

4.手術前の検査・麻酔について

■必要な検査

術前検査があります。

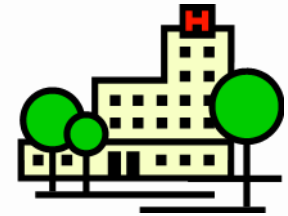


詳細については
麻酔科受診時に
麻酔科医師より
説明があります

■麻酔法

全身麻酔(静脈麻酔)+末梢神経ブロック

5.手術当日の流れ



必ず指示された時間に1Fの受付にお越しください。

担当者がご案内いたします。

- 当日は食事・水分摂取に制限があります。
- 血液のサラサラにするお薬をお飲みの方は、事前に休薬する必要があるためお知らせ下さい。

6.入院に関すること

- 手術当日の入院で**1泊2日**の予定です。
- 手術中、ご家族は宿泊室でお待ちください。
- 当院は全て個室対応となります。

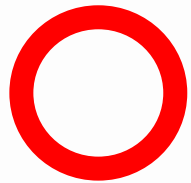


利き手を手術された方の食事です

7.手術後の経過

【活動について】

- ・手術後約3～4週間は、装具をして軽作業は可能です。
書字や箸動作は痛みに合わせて使用して下さい。
- ・重い物を持つ、物を強く引っ張る、せんたくばさみ、ペットボトルのふたを開けるなどの動作は行わないで下さい。
- ・スポーツなどの開始は、術後3ヶ月以降のことが多いです。



**軽作業は行っても構いませんが
術後約1～2ヶ月程度はうまく使えないことが多いです**



8.手のリハビリについて

- ・リハビリは手術後、初回処置日から開始となります。
初回処置のあとに、約30分～60分程度、リハビリの説明や装具の作製を行います。

初回リハビリで作製する装具

リハビリの回数

	一般的な回数
術後～術後1.5ヶ月	1～2週に1回
術後1.5ヶ月～3ヶ月	月に1～2回
術後3ヶ月～5ヶ月	月に1～2回

※回数はあくまで目安です。



プラスチック製の固定装具を
リハビリで作製します

**術後3～4週間は日中・夜間ともに
装具を装着して、軽作業のみ可能です**

9.術後に起こりうる症状について

腫脹や浮腫

術後1～2週間はキズの炎症により、赤く熱っぽい腫れがみられます。徐々に赤みや熱は引いていきますが、浮腫み（むくみ）は残りやすく、3～6ヶ月かけて軽減します。できるだけ早く腫れを引かせるために、手術後は**高挙手（手を心臓より高く挙げる）**や、**アイシング（冷やすこと）**を積極的に行ってください。

術後のしびれ

手術中の操作によって、術後3～6ヶ月しびれることがあります。時間が経つにつれて徐々に消えていきます。

9.術後に起こりうる症状について

手のこわばりや動かしにくさ

手術後は炎症が起こり腫れるため、一時的に指が動かしにくい、朝は硬くなって動かしにくいということがよくあります。むくみが軽減してくると徐々に改善してきますが、術後3ヶ月以上はみられます。

手の使いにくさ

手術後から、装具を装着して軽作業は行っても構いませんが、力が入りづらかったり、少しの動きで痛みを伴ったりする事があり、うまく使えません。時間とともに徐々に使い方に慣れていきますが、手術直後から今まで通りにすぐに使い始めることは難しいです。



！家事などに関しては、ご家族にサポートをお願いしたり
道具など事前の準備をしておきましょう！！

10.手術によって期待される効果と限界



➤ 効果

親指の付け根が腫れる、痛みがあるといった症状は軽減されます。また、開きづらかった関節の動きが拡大します。



➤ 限界

可能な限り関節の変形を治しますが、変形のない関節と全く同じように曲げる、伸ばす、親指を開いたり閉じたりする、というのは困難です。新しい手術法のため、現時点で長期成績は分かっておりません。